

自己評価及び外部評価票

【 事業所概要(事業所記入) 】

事業所番号	2090300589		
法人名	医療法人 緑風会		
事業所名	グループホーム材木町みどり		
所在地	上田市材木町2-4-20		
自己評価作成日	2026年2月2日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、長野県介護サービス情報公表システムで閲覧してください(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kan=true&JigvosyoCd=2090300589-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【 評価機関概要(評価機関記入) 】

評価機関名	環境・福祉事業評価センター
所在地	長野市南高田2丁目5番地16
訪問調査日	2026年2月26日

【 事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入) 】

当グループホームは1事業者2ユニットで運営されている。国道18号の傍に2F建ての建物が建立されている。建物内は全てバリアフリーで中心にスタッフルーム、倉庫、トイレを配置し、周りを囲むように1人1室の居室を配置して、ホール・相談室・洗面所・台所(IH)が設けられており、利用者はゆったり日々の生活をおくっており、家族・関係者が訪問しても十分な空間が保持できプライバシーが保たれている。外界との接触については食事も、歌舞伎見学、アニマルセラピー等、又、コミュニティ(地域交流)については認知症の理解、啓蒙運動として区民、民生委員、隣組、ボランティア、小学校の生徒、保育園等と交流し、活発化をなしている。家族等の交流についてはこの施設内の日々の様子を写真に収めアルバムにして利用者の家族へ年2回配布をして家族に好評を得ている。イベントを開催して家族同士の悩み・思いの提供の場として活用し、職員との交流をさらに深めている。

【 外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入) 】

「グループホーム材木町みどり」は、国道18号線から道を一本を隔てたのどかな地域に立地している。経営母体は医療・介護サービス事業を多角的に経営する医療法人緑風会であり、グループの総合力を生かした支援を利用者に提供できる事が施設の強みの一つである。また、施設運営では、利用者に関わる時間の確保のために、介護ソフトを導入し、事務処理の電子化を進めるとともに、情報の共有を強化している。日常においても、職員提案のレクリエーション、裏庭で運営する農園での活動や併設するデイケアセンターの利用者との交流など、日々の生活を充実させる取り組みを積極的に取り込んでいる。法人全体での研修体制も充実しており、職員の成長支援を通じた、利用者への提供サービスの質の向上と充実を図っている。
--

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。									
ユニット名(1F)									
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	ほぼ全ての家族と		
			利用者の2/3くらいの				家族の2/3くらいと		
			利用者の1/3くらいの				家族の1/3くらいと		
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	ほとんど揃んでいない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2,20)	○	ほとんどできていない		
			毎日ある				ほぼ毎日のように		
			数日に1回程度ある				数日に1回程度		
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	たまにある	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	たまに		
			ほとんどない				ほとんどない		
			ほぼ全ての利用者が				大いに増えている		
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	利用者の2/3くらいが	66	職員は、活き活きと働いている。 (11,12)	○	少しずつ増えている		
			利用者の1/3くらいが				あまり増えていない		
			ほとんどいない				全くいない		
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	ほぼ全ての職員が		
			利用者の2/3くらいが				職員の2/3くらいが		
			利用者の1/3くらいが				職員の1/3くらいが		
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	ほとんどいない		
			ほぼ全ての利用者が				ほぼ全ての利用者が		
			利用者の2/3くらいが				利用者の2/3くらいが		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	利用者の1/3くらいが				利用者の1/3くらいが		
			ほとんどいない				ほとんどない		
			ほぼ全ての利用者が				ほとんどできていない		
			利用者の2/3くらいが				家族等の2/3くらいが		
			利用者の1/3くらいが				家族等の1/3くらいが		
			ほとんどいない				ほとんどできていない		

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します							
ユニット名(2F)							
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2,20)	○	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている。 (11,12)	○	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない				